

石灰石のR5年度需給見込み及びR6年度需給見通し

■ 事業環境

- ・2020年に始まった新型コロナの流行は、変異株の流行が継続しているものの各国ともにウイズコロナ政策へと転換して経済活動は正常化した。
- ・ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格および原材料価格の高騰により世界経済は不安定化した。
- ・国内の建設関連の需要は、建設資材価格の上昇に伴う設計見直しや現場技術者の不足などにより、建設工事の遅延が発生しており、セメント国内販売および生コン需要には低調さが現われている。
- ・鉄鋼関連は、自動車生産の回復などから国内需要、輸出とも回復基調が鮮明になっており、粗鋼生産は昨年度並みで推移している。

■ 石灰石事業

- ・令和5年度の石灰石の生産・出荷については、建設関連が昨年度より低調に推移しており、セメント向けが特に低調である。鉄鋼関連は国内需要、輸出が回復しており、鉄鋼向けは概ね昨年度並みとなっている。
- ・令和6年度は建設関連に引き続き課題が残る不透明さはあるものの、石灰石の生産・出荷については建設関連、鉄鋼関連ともに概ね令和5年度の基調で推移するものと想定する。

■ 需要家業界の動向

	R4年度 A	R5年度見込み		R6年度見通し		対前年増減	
		B	前年比(%)	C	前年比(%)	B-A	C-B
建設関連							
セメント 国内販売 (百万ト)	37.3	34.8	▲ 6.6	35.0	0.6	▲ 2.5	0.2
輸出 (百万ト)	8.1	7.0	▲ 14.0	8.3	18.6	▲ 1.1	1.3
生産 (百万ト)	51.5	47.4	▲ 7.9	48.9	3.2	▲ 4.1	1.5
生コン 出荷 (百万m ³)	74.5	70.5	▲ 5.3	70.8	0.4	▲ 4.0	0.3
鉄鋼関連							
粗鋼 生産 (百万ト)	87.8	86.7	▲ 1.3	86.7	0.0	▲ 1.1	0.0
石灰 生産 (百万ト)	7.4	7.2	▲ 2.5	7.2	0.0	▲ 0.2	0.0

■ 石灰石の生産量・出荷量

	R4年度 A	R5年度見込み		R6年度見通し		対前年増減	
		B	前年比(%)	C	前年比(%)	B-A	C-B
建設関連							
セメント用 (百万ト)	53.6	49.3	▲ 7.9	50.9	3.2	▲ 4.3	1.6
骨材用 (百万ト)	29.0	27.4	▲ 5.3	27.5	0.4	▲ 1.5	0.1
(小計) (百万ト)	82.6	76.7	▲ 7.1	78.4	2.2	▲ 5.8	1.7
鉄鋼関連							
鉄鋼用 (百万ト)	17.3	17.1	▲ 1.3	17.1	0.0	▲ 0.2	0.0
石灰用 (百万ト)	8.9	8.7	▲ 2.5	8.7	0.0	▲ 0.2	0.0
(小計) (百万ト)	26.2	25.7	▲ 1.7	25.7	0.0	▲ 0.4	0.0
その他 (百万ト)	11.6	10.6	▲ 8.7	10.6	0.0	▲ 1.0	0.0
輸出 (百万ト)	5.6	5.6	▲ 0.8	5.6	0.0	▲ 0.0	0.0
出荷量 (百万ト)	126.0	118.7	▲ 5.8	120.3	1.4	▲ 7.3	1.7
生産量 (百万ト)	126.7	119.4	▲ 5.8	121.0	1.4	▲ 7.3	1.7

単位：千ト

石灰石生産量の推移

